

# 中国経済経営学会 ニュース・レター第11号

「ニュース・レター」第11号をお届けします。2020年6月13日に行われた理事会の議事録、2020年7～8月に実施された第4期理事選挙の結果報告、2020年6月に開催された中国知網（CNKI）「全球中国経済大講堂」の開催報告で構成されます。

なお、2020年6月13日（土）に日本福祉大学・東海キャンパスで開催予定の春季研究集会につきましては、新型コロナウイルスの影響によって中止となり、2020年度の全国大会はオンライン開催となりました。全国大会につきましては、以下の予定で開催されます。是非、ご参加頂けますようお願い申し上げます。

- ・全国大会 2020年10月17日（土）・18日（日）、オンライン開催、実行委員長 木崎翠会員

## 目次

- I 第3期第4回理事会議事録
- II 第4期理事選挙の結果について
- III 中国知網（CNKI）「全球中国経済大講堂」の開催報告

## I 中国経済経営学会 第3期第4回理事会議事録

日時：2020年6月13日（土） 10:30-12:00

会場：オンライン開催

- ・出欠確認（敬称略）

出席：高橋、内藤、木崎、澤田、唐、羅、日置、金澤、矢野、堀井、岡本、藤井、馬、伊藤、寶劔、大島（幹事）、金子（幹事）

欠席：戴

- ・前回理事会（2019年11月16日）議事録（確認済み）

## 1. 報告事項

### 1.1 会員動向について（寶劔）

2020年4月30日現在、会員数493名。内訳：名誉会員7名、正会員392名（有職289名、減額103名）、海外会員94名。2019年9月末との比較で、正会員数は6名増、海外会員2名増。

退会者1名

退会賛助会員0団体。

新入会員11名（有職5名、減額6名、海外0名）。承認必要。

正会員（有職）から海外会員の資格変更者2名。承認必要。

### 1.2 学会誌の刊行・投稿状況について（日置・羅）

(1) 『中国経済経営研究』発行状況

- ・第3巻第2号（通巻6号）：2019年12月の刊行

【小特集】 中国経済のいま（情勢分析研究会）

箱崎大「中国経済をめぐる二つのトピックス：マクロ統計と日系企業の動向」

岡野寿彦「中国のプラットフォーム：成長要因、ビジネスモデルの特徴と主要プラットフォームの比較分析」

【論文】

阮玉玲「輸出の企業生産性に与える影響に関する実証研究—中国広東省の事例」

## 【研究ノート】

王威「中国農民工の年金加入に関する要因分析—『都市従業員養老保険』と『新型農村養老保険』の選択」

## 【書評】

穆堯芋『中国の地域開発政策の変容—地方主体の展開と実態』（岡本信広）

Xinxin MA *Economic Transition and Labor Market Reform in China*（村上直樹）

李強 編著（蔣芳婧訳、橋谷弘解説）『多元的都市化と中国の発展』（羅敏鎮）

・第4巻第1号（通巻7号）：2020年3月の刊行

【特集】国際シンポジウム「ファーウェイと米中貿易戦争—中国のイノベーションは何処へ？」（2019年大会）

趣旨説明

李春利「フラット化する世界と米中対立の課題」

基調講演

呉曉波「中国のイノベーション—キャッチアップからキャッチアップ超越まで—」

陳浩「5Gイノベーションとコラボレーションによるスマート社会の共創」

研究報告

丸川知雄「ファーウェイ急成長の解明」

大橋英夫「米中貿易戦争と日本の対応」

## 【書評】

梶谷懐『中国経済講義—統計の信頼性から成長のゆくえまで—』（高田誠）

末廣昭ほか編著『中国・新興国ネクサス—新たな世界経済循環—』（杜進）

大塚健司『中国水環境問題の協働解決論—ガバナンスのダイナミズムへの視座—』（片岡直樹）

石塚浩美『日中韓・働き方の経済学分析—日本を持続するために中国・韓国から学べること—』（巖善平）

(2) 学会誌への投稿状況（2019年6月から2020年6月13日現在まで13本の投稿）

- ・掲載決定の論説1本（第4巻2号）
- ・掲載決定の研究ノート0本
- ・査読中の原稿：論説4本
- ・その他の原稿：8本（不採択：5本、その他：3本）

## 1.3 国際交流委員会について（堀井・唐・岡本）

2020年6月1日～6月30日に、本学会（中国経済経営学会）、欧州中国経済学会、中国留美経済学会、濠州中国経済学会、中国衛生政策管理学会、Journal of Chinese Economic and Business Studies、中国知網（CNKI）が主催する連続講演会（「全球中国経済研究学術能力提昇大論壇」）がオンラインで開催され、本学会からは唐成会員、馬欣欣会員、岑智偉会員、伊藤亜聖会員が登壇予定である。

## 1.4 広報について（藤井）

- ・2020年1月7日に「中国経済経営学会ニュース・レター第10号」を発行した。
- ・HPのリニューアルについては、2020年8月頃に実施予定である。「お知らせ」欄の整理（掲載内容を2018年度以降に限定）は2020年6月中に行い、学会規定、投稿規程、執筆要項のPDF化については2020年8月頃に実施する予定である。
- ・HPのhttps化は完了している。今後、学会から会員に連絡する際にはURLの変更（<https://www.jacem.org/top>）を周知する（非https版も当面は閲覧可能）。
- ・日本経済学会連合の『英文年報』（第40号、2020年12月刊行予定）に、本学会の活動内容が掲載予定である。本年報の編集委員に木崎理事、執筆委員に寶劔理事が就任した。

## 2. 審議事項

### 2.1 新入会員の承認

理事会において、以下の11名の入会が承認された。

・陳 奥飛	(愛知大学国際中国学研究センター)	正会員(有職)
・佐々木 正清	((株)みずほファイナンシャルグループ)	正会員(有職)
・宋 宇	(帝京大学経済学部地域経済学科)	正会員(有職)
・葉 青	(東洋大学大学院経済学研究科)	正会員(減額)
・李 少燕	(たちばな学園)	正会員(有職)
・李 世傑	(早稲田大学大学院社会科学部研究科)	正会員(減額)
・孫 振	(早稲田大学大学院社会科学部研究科)	正会員(減額)
・増原 広成	(公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構)	正会員(有職)
・小松 翔	(東京大学大学院新領域創成科学研究科)	正会員(減額)
・王 亦菲	(法政大学大学院経営学研究科)	正会員(減額)
・潘 宝燕	(神戸大学大学院)	正会員(減額)

### 2.2 会員資格変更の承認

理事会において、以下の2名の海外会員への資格変更希望が承認された。

- ・垣谷 幸介 (豊田自動車技術中心 (中国) 有限公司)
- ・根師 梓 (フリーランスのアドバイザー)

### 2.3 2020年度の活動計画

(1) 2020年度全国大会について

- ・日時：2020年10月17日(土)～18日(日)、会場：富山大学(担当：馬欣欣理事)
- ・富山大学の現状(2020年5月26日現在、HPより引用)：
  - 富山大学が実施する各種行事・イベント等については、政府の基本方針、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言等を踏まえ感染拡大の防止、参加者の健康面、安全面を考慮し、当面の間、不要不急の各種事業・イベント等は中止または延期とする。
  - やむを得ず実施する場合は、比較的少人数(参加する人数が最大でも50名程度)のイベントに限定し、かつ、『富山大学における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン』を遵守する必要がある。すべての事項を担保できない事業等は中止または延期すること。
- ・富山大学の現状(2020年6月9日現在、HPより引用)：
  - 富山が実施する各種行事・イベント等については、当面の間、次のとおりとしますので、実施にあたっては「富山大学における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を遵守してください。
  - (6月1日～6月18日)：規模は、100人又は収容定員の50%のいずれか小さい方とし、適切な感染防止対策を講じた上で、特定地域からの来場者を見込み、人数を管理できるものとする。
  - (6月19日～7月31日)：適切な感染防止対策を講じた上で、特定地域からの来場者を見込み人数を管理できるものとする。
  - (8月1日以降)：感染状況等を見つつ検討の上、改めて通知する。全国的または広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なものについては、中止を含めて慎重に取り扱うこととします。また、本学に罹患者が出た場合や地域あるいは全国的な感染拡大があれば見直しを行います。(下線は引用者)
- ・「富山大学における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」(行事・事業に関する規定を抜粋)
  - ① 会場へはマスクを着用して入る。
  - ② 会場に入る際、設置されているアルコール消毒液で手指消毒を行う。

- ③ 行事中は定期的な換気を行う。
- ④ 対面で発言する場合は、十分な距離（できるだけ2m（最低1m））をとる。
- ⑤ 会場は、身体的距離の確保や感染予防策に留意して設営する。また、会場外においても「3つの密」の回避に留意する。
- ⑥ 入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- ⑦ 参加者の検温と症状の有無を確認し、発熱等風邪の症状がみられるときは、参加を控えてもらう。
- ⑧ 触れやすい器物（スイッチ、ドアノブ等）の消毒に努める。
- ⑨ 参加者と連絡が取れる体制を確保する。

このような事情を踏まえ、2020年の全国大会について富山大学での開催を断念し、オンライン開催（開催日は2020年10月17～18日）とすることを執行部が提案し、理事会での審議の結果、本提案は承認された。オンライン大会では、Zoom等のオンライン会議システムを利用した同時双方向の形で実施すること、全国大会のプログラムの構成や運営方式、使用するオンライン会議のツールなどについては、研究担当理事を中心に取りまとめ作業を行い、理事会等を通じて引き続き議論することが決まった。

また、2021年の春季研究集会と全国大会に関して、今後のコロナウイルスの動向や大学側の状況に応じて変更・調整の可能性もあるが、春季研究集会については日本福祉大学（東海キャンパス）、全国大会については富山大学で開催する方向で準備を進めていることも確認された。

## (2) 『中国経済経営研究』の発行予定

- ・第4巻第2号（通巻8号）：2020年12月末の刊行予定

本巻（場合によっては、第5巻1号においても）では、特集「新型コロナウイルスと中国経済」（仮題）を組み、会員に対して論文寄稿を呼びかけることが編集委員会から提起され、理事会で承認された。

## (3) 広報・ニュース・レター

2020年8月頃までに「中国経済経営学会ニュース・レター第11号」を発行予定。

## (4) 国際交流セミナー：開催予定は未定

## (5) 情勢分析研究会：開催予定は未定

## 2.4 第4期理事選挙について（執行部）

執行部から理事選挙に関する以下の執行部提案が行われた。

- (1) 2020年7～8月に理事選挙を予定通り実施する。
- (2) 理事の定員を現行17名から19名に変更するとともに、東日本地区・西日本地区の区別をなくし、被選挙者名簿から理事定員（19名）以内の候補者を連記する形とする。

理事会での審議の結果、本提案は理事会で採択された。本決定に基づき、理事選挙規定が改正されることも理事会で承認された。なお、理事選挙の実施にあたっては、①投票用紙の発送・集計作業において三密を十分に避けるようにすること、②2020年秋の全国大会において、オンラインも含めて理事会と総会が着実に開催され、新執行部の選任・発足が円滑に進められること、③旧執行部から新執行部に適切な引き継ぎが行われること、といった点に十分な配慮が必要であることも確認された。

本件と関連して、学会事務局が設置されている桃山学院大学では、教員・学生の入退出制限が依然として行われ、事務局内で投票用紙の発送等の作業実施が困難にある。従来、これらの作業は学生アルバイトを中心に行われてきたが、現在の状況に鑑み、見積金額の妥当性を検討した上で外部（プロアクティブ）に作業を委託することが決まった。

改正された理事選挙規定に基づき、以下の形で理事選挙を実施する。

・選挙管理委員会の設置

学会第四期理事選挙にかかる選挙事務をとりおこなう選挙管理委員会は、以下の会員で構成される。

- 竹歳一紀会員(龍谷大学、滋賀県大津市)、三竝康平会員(帝京大学、東京都八王子市)、孟哲男会員(大阪商業大学、大阪府堺市)
- 理事選挙規定・第1条(選挙管理委員会は選挙事務を管理、監督する。選挙管理委員会は若干名により構成され、委員は理事会が委嘱する。委員長は委員の互選による)に基づき、委員長は委員の互選により決定される。

・理事選挙の概要と日程

1. 選出人数

19名

2. 任期

3年(2020年11月~2023年10月)

3. 選挙権者

選挙告示日現在、正会員(年会費の減免を受けた者を除く)である者。

4. 被選挙権者

被選挙権者は、選挙権を有するとともに以下の条件を満たす者とする。

- (1) 選挙の告知日において満70才を越えない者。
- (2) 選挙の告知日において、総会で正会員としての承認を受けてから継続して2年以上の者。
- (3) 直近の2期で連続して理事の任になかった者。

5. 選挙方法

郵送投票(学会公印のある被選挙者名簿用紙)による。

被選挙者名簿に、理事定数(19名)以内の候補者名に○を記し、無記名にて郵送。

郵送先: 〒594-1198

大阪府和泉市まなび野1-1 桃山学院大学経済学部 大島一二研究室気付

6. 日程

(1) 選挙の公示日(告知日)

2020年7月1日(水)

(2) 投票用紙(被選挙権者名簿)等の発送:

2020年7月20日(月)

(3) 投票締切:

2020年8月18日(火)(必着)

(4) 開票日時および場所(予定):

2020年8月22日(土)

桃山学院大学梅田サテライト

〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング(8F)

## 2.5 学会ホームページの全面リニューアル、および管理の外部委託について(藤井、寶劍)

本件を実施するにあたって、高額の初期投資と運営費用が必要となるため、引き続き慎重に検討中であるが、一部のリニューアル作業については、広報担当理事が実施している(お知らせ欄の整理、掲載内容の一部PDF化など)。広報担当理事と総務担当理事の間で情報共有と作業分担を行いつつ、HPに関する長期的な運営のあり方について検討を進め、その進捗状況を適宜、理事会に諮っていく予定である。

## II 第4期理事選挙の結果について

選挙管理委員会（竹歳一紀委員長、三竝康平委員、孟哲男委員）より、過日実施された第4回理事選挙の結果を通知する（五十音順、敬称略）。

### <定員 19名>

伊藤亜聖  
苑志佳  
大島一二  
大原盛樹  
岡本信広  
梶谷懐  
巖善平  
駒形哲哉  
澤田ゆかり  
曾根康雄  
杜進  
中川涼司  
宝剣久俊  
丸川知雄  
遊川和郎  
羅歆鎮  
李春利  
劉徳強  
渡邊真理子

## III 中国知網（CNKI）「全球中国経済大講堂」の開催報告

2020年6月1日～6月30日に、本学会（中国経済経営学会）、欧州中国経済学会、中国留美経済学会、濠州中国経済学会、中国衛生政策管理学会、Journal of Chinese Economic and Business Studies、中国知網（CNKI）が主催する連続講演会（「全球中国経済研究学術能力提昇大論壇」）がオンラインで開催され、本学会からは唐成会員、馬欣欣会員、岑智偉会員、伊藤亜聖会員が登壇した。また、本学会を代表して高橋会長が開会式で挨拶を行い、戴副会長は4名の講演の司会進行を担当した。

4つの講演はいずれも好評を博し、各講演のリアルタイム参加者数で見ると、200人台が2講義、300人台が1講義、500人台が1講義、講演ビデオの視聴者数では、500人台が2講義、900人台が1講義、1600人台が1講義であった（2020年7月6日現在。同一端末からの重複視聴は1回分とカウント）。

今回の「全球中国経済大講堂」の成功を受け、CNKI国際部は本事業の継続のため、今回参加した各国・地域の学会の参加の下で「事業組織委員会」（仮称）の新設を提起し、本学会にも本委員会への参加要請が届いた。

本件について、理事会（オンライン）で協議した結果、本学会として「事業組織委員会」に参加すること、学会員から「事業組織委員会」の構成員（顧問1名、学術委員1名、組織委員1名）を推薦すること、その構成員の人選については執行部に一任すること、新理事会の設立とともに学術委員と組織委員の構成員の入れ替えを行うことが決まった。そして執行部での協議の結果、顧問に中兼和津次名誉会員、学術委員に高橋会長、組織委員に戴副会長が就任することが内定した。

『中国経済経営学会ニュース・レター』第11号 2020年8月31日発行

発行人: 高橋 五郎

編集人: 藤井 大輔

■中国経済経営学会事務局

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1

桃山学院大学経済学部

大島一二研究室 気付

E-mail: [jacem.office@gmail.com](mailto:jacem.office@gmail.com)

URL: <https://jacem.org/top.html>